

グリーンフォーラム in さがみはら 開催概要

ふやそうみどり！なくそうヒートアイランド

日時：平成18年2月18日(土) 13:30～16:30

会場：ソレイユさがみ（相模原市橋本サテイ6F）

主催：相模原市 財団法人 神奈川県公園協会 NPO法人 ^{ジップ}GIP

後援：神奈川県、独立行政法人 都市再生機構、財団法人 都市緑化技術開発機構、
社団法人 日本公園緑地協会、財団法人 日本造園修景協会
財団法人 相模原市みどりの協会

協賛：相模川を愛する会

参加者総数：150名

主催者あいさつ

財団法人 神奈川県公園協会 理事長 小山 剛司

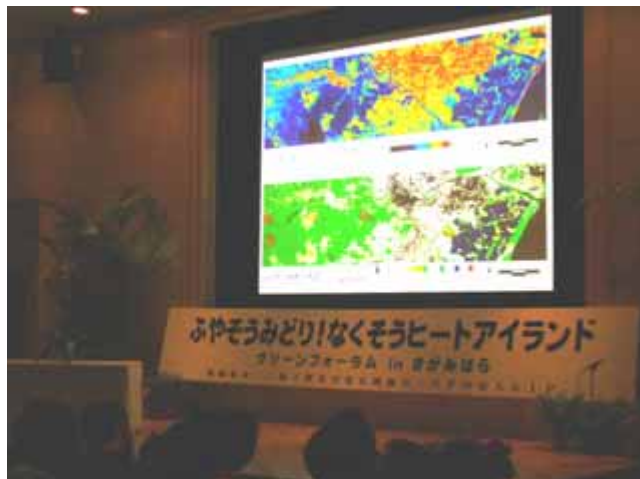


基調講演 「みどりとヒートアイランド」

ヒートアイランド現象のメカニズムと、神奈川県を始め日本の都市で進行している現状を、様々な衛星写真やデータの解析結果を使って紹介された。また、緑を利用したヒートアイランドをできるだけ起こさないまちづくりについて、映像等を交えてわかりやすく講演された。

梅干野 晁（東京工業大学 教授）

東京工業大学総合理工学科の教授、専門は都市建築環境工学、環境のリモートセンシング、都市建築の緑化で、最近ではヒートアイランドを立体的にシミュレーションできるシステムの開発や屋上緑化などに取組んでいる。



パネルディスカッション 「ふやそうみどり！なくそうヒートアイランド」

「ふやそうみどり」をテーマに、パネリストそれぞれの立場からの取り組みを基に、ディスカッションを行なった。



<モデレーター>

梅干野 晁 (東京工業大学 教授)

<パネリスト>

小島 康親 (横浜市立小山台小学校 校長)

平成元年、横浜市霧が丘第二小学校在任中、教室から直接外に出られる校庭緑化に出会い、1年間はだし教育を実践し、芝生のよさを実感した経験から、平成16年、現在の小山台小学校に念願の全面芝生を完成させた。

野呂 恵子 (東林ふれあいの森を愛する会)

相模原市の南部の「東林ふれあいの森」で、動植物が生息する自然環境を守り、人に心地よい森を目指して、保全作業、調査、情報発信、学習などを行っている。

岩崎 春彦 (横浜国大屋上緑化共同研究者)

屋上緑化の研究を横浜国立大学と共同で行いながら、相模原市役所屋上緑化実験見本園のデータ収集も行っている。また、個人住宅での小規模屋上緑化の楽しみ方などについても取り組んでいる。

小松 雅一 (神奈川県県土整備部都市整備公園課技幹)

都市整備公園課において、新規都市公園の計画及び公園拡大計画、都市緑化の企画、調整、推進などの業務を担当し、「緑の回廊」構想を進めている。

リラックスタイム アルプホルン演奏 玉川アルプホルンクラブ

昨年のフォーラムに引続き、厚木市を拠点に間伐材を使って手作りのアルプホルンを製作、演奏活動を行っているグループ「玉川アルプホルンクラブ」が演奏を披露した。



アンケート結果より ~フォーラムの感想をお聞かせください~

- 基調講演
- ・都市の緑化がひいてはヒートアイランドの防止につながることが分かった。衛星からのデータが見れたのは良かった。(20代女性)
 - ・都市はデザインより生活環境対策が重要であることが熱分布図でよく理解できた。(60代男性)

パネルディスカッション

- ・緑に対して本当に様々な取り組みがなされていることを知ることができたが、それに対して、緑がなくなっていく現状とにギャップを感じた。(20代男性)
- ・小山台小学校の例がとても印象に残った。(70代女性)

閉会あいさつ

NPO法人 GIP 理事長 木村 郁男